

ユニット名	山陰の自然を愛し、環境保護を呼びかけるユニット「地学部」
代表者	部長 川本 一輝
所属人数	10名
達成に資するSDGs目標	4 質の高い教育をみんなに 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
活動概要	島根半島を中心とした地質巡検(月1回)を通して、自然環境の素晴らしさを学ぶ 海岸清掃, 以下の連携先の活動のお手伝い(不定期) 大学祭にて, ジオパークなどについてや自然の大切さなどについて伝える(10月) 地元の子どもたちに理科教育・地学教育として、その魅力を伝え、守るべき自然を通して、自然科学リテラシーの育成と環境保護の大切さを学んでいただく。
主な連携先 (予定を含む)	総合理工学部 教育学部 島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会 奥出雲多根自然博物館 島根県立三瓶自然館サヒメル 出雲科学館 島根県地学会 モニュメントミュージアム来待ストーン 出雲国ジオガイドの会 加賀まるごと博物館 水の都プロジェクト協議会
成果物の公表予定、 社会への波及効果	大学祭でのポスターや実物展示を通じた活動の報告と、市民、学生への環境保全の意識啓発を行うことで、SDGsの目標13,14,15番の項目に寄与することをめざす。また、それにより子どもたちを中心とした市民の環境保護・保全の機運を高める。